

✧ 海外ニュース ✧

イタリア 2022年7月8日 Il sole 24 ore

■ イタリア政府、Totoグループ傘下 Autostrada dei Parchi との契約を解除し、Anas を指定

Autostrada dei Parchi : il Governo revoca la concessione al gruppo Toto, subentro immediato Anas

イタリア政府は、高速道路 A24 と A25 のコンセッション契約を解除することを閣議決定した。Autostrada dei Parchi は、Toto グループの傘下にある道路運営会社で、安全策の実施に必要な資金を確保できないことを理由に、契約の早期解除を求めていた。この契約解除に伴う事業継続会社として、政府系道路運営企業 Anas S.p.A. が即座に指名され、従業員、設備・装備、機械の引継ぎを行うことが決まったと、インフラおよび持続可能交通省が明らかにした。

米国 2022年7月13日 CBS News

■ マンハッタン行政区長、混雑課金制度の実現に向けて、軌道に乗せる計画を再度発表

Manhattan borough president outlines recommendations to get congestion pricing back on track

ニューヨーク市がマンハッタンにおいて新しい通行料金徴収区域を創設する計画を承認して数年が経過しており、マンハッタン行政区長は、混雑課金制度を再び軌道に乗せる計画を今般明らかにした。ラッシュ時を避けた通行に向けてさまざまな料金体系を設定するほか、小型車が大型車よりも、またそれらの車両はトラックよりも少なく通行料を支払う仕組みを導入する計画で、さらにマンハッタン地区に入るときには、東側から来る車も西側から来る車も同一料金を払うように設定するとされている。

米国 2022年7月14日 9to 5 Google

■ 米大手ナビアプリ Google マップ、自動車の動力源別の省エネルート案内の提供を計画

Google Maps to offer energy-efficient routes tailored to electric vehicles, hybrids, more

一般的にナビアプリは、最短の移動時間となるよう経路を最適化するが、Google マップでは環境に優しいルート選択を行う機能を昨年より提供している。現在、これに加えて、燃料（ガソリン/ディーゼル）や電気自動車といった動力源別のエネルギー効率を考慮に入れた最適なルートの選定を行う新たな機能に関する試験を行っている。従来のリアルタイムでの道路交通状況などの情報に加えて、エネルギー効率を考慮しルートが選択される。

米国 2022年7月14日 CNBC

■ GM、急速充電所を運営する EVgo と米国の高速道路沿いで Pilot Flying J が運営するトラック運転手の休憩施設エリアに、EV 用急速充電器のネットワークを構築

General Motors will build a network of EV fast chargers at Pilot travel centers along U.S. highways

GM と EVgo は、Pilot Flying J が運営するトラック運転手休憩施設等に 7 億 5,000 万ドルを投じ、2,000 台の充電ステーションを設置する計画である。2025 年末までに 3,500 基以上の EV 充電器を設置する。充電器は EVgo 社によって設置運営と維持管理が行われ、最大 350 キロワットの充電が可能な高出力急速充電器や、トレーラーを牽引する電気自動車に対応した充電スタンドが設置される予定である。

スペイン 2022年7月16日 El País

■ 2025年から車両の3分の1がマドリッド市内を通行できなくなる

Un tercio de los coches no podrán circular por Madrid a partir de 2025

スペインでは登録車両が全体的に老朽化しつつあり、2021年末時点で車両平均使用年数が、13.5年となっている。欧州全体の平均より2年間長く使われた車両が走行していることになる。スペインの道路では2,990万車両が通行しており、そのうちの33.2%（990万車両）が年式が古く、交通局（DGT）が車両の見えるところに貼りつけることを義務づけている環境ステッカーの取得ができていないという。こうした状況が続くと、2025年から車両の3分の1がマドリッド市当局の排出ガス基準に合致せず、マドリッド市内を走行できなくなる。実は、すでにそれらの自動車は、マドリッド市内中心部の環状道路M-30内の地区に入れなくなっている。

フィリピン（英国） 2022年7月19日 World Highways

■ フィリピン政府は主要 PPP（Public Private Partnership）プロジェクトについて優先順位を決めつつある

The Philippines Government is prioritising key PPP projects.

フィリピンでは、主要な交通インフラ計画に優先順位がつけられており、それらすべての計画がPPP事業で、フィリピンのDPWH（Department of Public Works and Highways=公共事業および高速道路局）によって最重要事業として指定されている。同計画には、メトロ・セブ高速道路、CLLEX（Central Luzon Link Expressway）のPhase 11および15kmの長さの浮揚架橋のほか、全長190kmの高速道路、180km、226.5kmの高速道路等があり、慢性的な渋滞の解消を目指す。また、セブ橋の建設事業もフィリピンで最も重要なインフラ整備事業となっている。

米国（英国） 2022年7月20日 ITS International

■ Transurban, Indra の HOV（High-Occupancy Vehicles）技術を認証

Transurban identifies Indra HOV tech

高速道路運営企業 Transurban は、Northern Virginia の3つのルート（I-95、I-495 および I-395）におけるHOVレーンで、走行する車両が相乗りしているかを確認するため Indra の技術を採用した。人工視覚、AI 深層学習を用いて、リアルタイムで自動的に前部席、後部席の人数を把握するもので、サンフランシスコ近郊の高速道路 I-880 で実証されている。Transurban は、車の乗員数が3名未満である車両を特定でき、運転手は通告料金を支払うことになる。

米国 2022年7月20日 state scoop

■ コロラド州交通局、コネクテッドカーの走行環境を整備する、路側センサー（RSU）150個を整備

Colorado to add 150 new connected vehicle devices to roadways

コロラド州交通局は Yunex Traffic と契約し、コネクテッドカーの走行環境を整備するため路側センサー150個を設置する。ドライバーに危険を知らせると同時に、交通渋滞を緩和することを目的としている。州間高速道路70号の山間部で試験を開始し、最終的には州間高速道路約640kmへの路側センサーの設置が計画されている。路側センサーは通信機を備えたコネクテッドカーからデータを受信することや、メッセージを送信することができる。1秒間に10回の割合でコネクテッドカー通信接続を行い、走行速度、進行方向、ABSの稼働などのデータ、さらにワイパーを使用しているかどうかなどの詳細な情報を収集する。コロラド州交通局によると、制限速度の標識や交通遅滞の通知ではなく、車の正確な位置と周囲の状況に基づいて、その時々情報が車内の画面に送られるようになるという。

米国 2022年7月21日 electrek

■ フォード、身体の不自由な方へ電気自動車の充電を支援する、ロボット充電アームを試行

Ford is testing a robotic EV charger to assist disabled, elderly, and less mobile drivers

フォードは、身体の不自由な方のために、ドライバーが車から離れることなく携帯電話から起動できるロボットEV充電器システムを試験している。このロボットは独ドルトムント大学が特別発注したもので現在はまだ研究段階にある。

米国 2022年7月24日 Tribune-Star

■ 大豆を原料とする、環境に優しいコンクリートシール材 PoreShield

Concrete improvement : Soy-based sealant seen as environmentally friendly solution for road projects

コンクリートシール材 PoreShield は、道路や橋の寿命を延ばすだけでなく環境にも良いとして、注目を集めている。パデュー大学がインディアナ州交通局からの要請に応え、2000年代に使用されていた有害なシラン系材料に代わる材料を研究したところ、無毒で揮発性有機化合物（VOC）をほとんど含まない大豆メチルエステル（トリグリセリドを化学的にバイオディーゼル燃料に変換したときにできる物質）は蒸発が遅いことに加え、保護材として有効であることを発見したことから製品化されたものである。

米国 2022年7月25日 Ornikar

■ General Motors と Ford は運転ハンドルがない自動運転車を開発しようとしている

General Motors et Ford souhaitent déployer des voitures autonomes sans volant

GM とフォードは、運転ハンドルのない車の走行について、米国高速道路安全局に許可申請した。2,500 車両を対象にしており、GM ではハンドル、ミラー、ワイパーおよび方向指示器がない自動車を想定している。一方、Ford では乗員が使う制御装置、連絡装置が備わっていない。それらは、道路上の安全に支障をもたらすと考えられるからである。当面、このようなハンドルがない自動車は、個人所有の自家用車ではなく、配送車や相乗り自動車として用いられる予定である。

英国 2022年7月26日 Highway Magazine

■ 高速道路メンテナンス企業 Kier、ディーゼル発電機を水素燃料電池に替える試行を実施

Kier trials hydrogen generator on A585 scheme

Kier Highways は、国営道路運営企業 National Highways が発注する A585 Windy Harbour バイパス道路工事の現場で、水素燃料電池による発電機を試験的に導入している。英国の新興技術企業 Hydrologiq と共同で、水素燃料電池を導入するうえでの実践的な課題を探ることを目的としており、同社が実施する最初の水素燃料電池発電機（110kVA）の配備となる。Kier によると、長期的にはディーゼル発電機から水素燃料電池に置き換えることで、グレー水素で駆動する場合は CO₂e 排出量を 40～80%削減でき、再生可能エネルギーで製造されるグリーン水素で駆動する場合は 100%に近い削減が可能になるという。Kier グループでは、2045 年までに CO₂ 排出実質ゼロを目指すことを定めている。

スペイン 2022年7月28日 El País

■ 大手建設企業、上半期で利益を改善

Las grandes constructoras mejoran sus resultados en el primer semestre

Ferrovial 社は黒字に戻り、Acciona 社は 35% 利益を増やし、OHLA 社は損失を計上した。大手総合建設会社 6 社は、2022 年の前半期において利益を顕著に改善した。Ferrovial 社が黒字になったのは、空港と高速道路の

利用者数が回復したことを受けた結果である。Ferrovial 社の高速道路建設収益は 31.1% 改善し、3 億 5,500 万ユーロに達し、その増額は米国における高速道路運営が確実に増えたことを反映していて、その額は 76.8% 増となっている。EBITDA は他の時期に比べ 34.7% 上昇し、2 億 5,500 万ユーロに達している。

米国 2022 年 7 月 28 日 mlive

■ コンクリート舗装に、破碎した廃タイヤを使用する試行プロジェクト

Road paving pilot project will use 10,000 scrap tires in Muskegon

ミシガン州マスケゴン市は、ミシガン工科大学と共同で、州からの資金供与を受けた試行プロジェクトとして、粉碎したタイヤをコンクリート混合物に使用する計画である。同市によると、廃タイヤはこれまでもアスファルト舗装に使用されてきたが、同市では来年夏に市内で破碎した廃タイヤを含むコンクリート舗装を行う予定であり、州内で初めてとなるという。

米国 2022 年 7 月 28 日 Pennsylvania Capital Star

■ ペンシルバニア州、数百万ドルの連邦資金を投入し、電気自動車（EV）インフラを整備

With millions in federal funding, PennDOT charges ahead on EV infrastructure development in Pa.

ペンシルバニア州は、数百万ドルの連邦資金を投入して、既存の電気自動車（EV）インフラを整備することを決定した。同州は、超党派インフラストラクチャー法に基づき、今後 5 年間で 1 億 7,150 万ドルの電気自動車インフラ資金を受領する予定であり、充電・給油インフラにはさらに 25 億ドルの助成金が用意されている。また、同法では、各州は 8 月 1 日までに米国運輸省に EV インフラ整備計画を提出することが義務付けられており、ペンシルバニア州交通局は 2028 年までに、州内の 2,000 カ所に少なくとも 5,000 個の新しい EV 充電ポートを設置することを提案している。

なお、電力会社 PPL Electric Utilities によると、過去 6 カ月間に EV 充電所他のインフラ整備への関心が高まっており、この変化の一因はインフレとガソリン価格の上昇であるという。

ドイツ 2022 年 8 月 3 日 WeLT

■ 路面の革新には熱による損傷からの保護が必要

Innovative Fahrbahnbeläge sollen vor Hitzeschäden schützen

アスファルトは温度が上昇し負荷がかかると変形して轍が生じることから危険である。そのためヘッセンでは、先進的な路面舗装への取組みが行われている。オッフェンバッハでは、2020 年半ばから、特許出願中の「クリマファルト（Klimaphalt）」路面が設置された試験区間がある深さ 60 cm の道路構造と、アスファルトよりも太陽光をよく反射する明るい表面で構成されている。この素材は、太陽光線の下で蒸発する水を蓄えることができるため、周辺環境の冷却に役立つ。

英国（スイス） 2022 年 8 月 3 日 ITS international

■ EV 充電技術が具体的に進展

EV charging makes concrete progress

セメントメジャーのスイス Holcim は、コンクリートを磁性化させた電化道路を開発する新興企業の独 Magment に出資し、ワイヤレス誘導充電技術を可能にする材料を共同で開発したと発表している。Holcim のオープンイノベーションエコシステムは、環境に優しい製品やサービスを加速させるための新技術を開拓する世界中の新興技術企業 120 社で構成されている。